



燃ゆる感動 かごしま国体

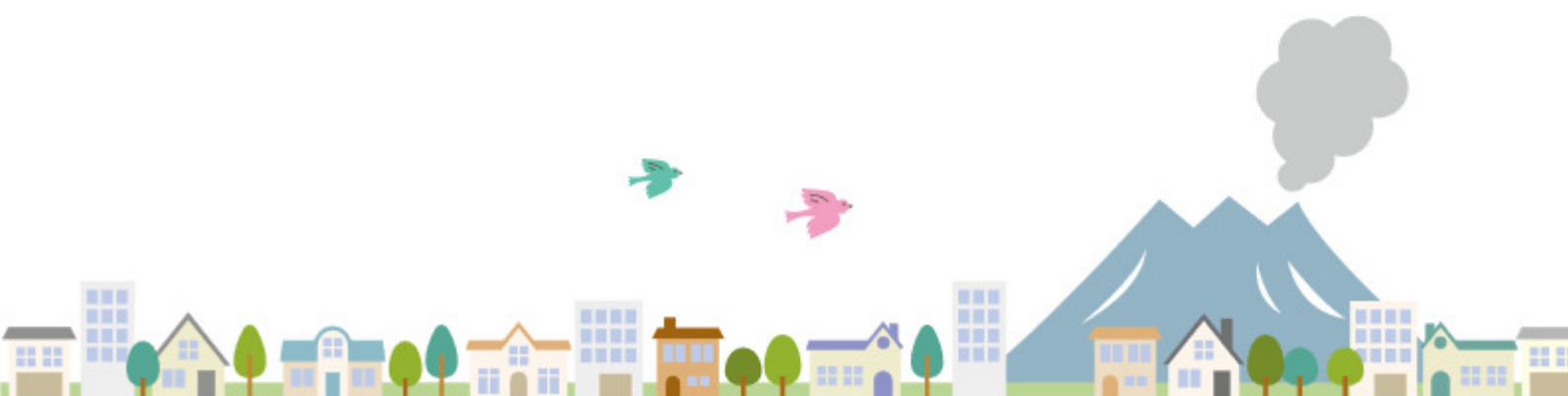
特別国民体育大会

熱い鼓動 風は南から

2023



日置市大会報告書



国民体育大会マーク



昭和 22 年に国民体育大会のシンボルとして制定され、第2回大会から使用されています。30 度右傾斜した赤色の火炎を直径 10 分の 1 幅の紺青色の円帯で囲んでいます。

総合開会式・総合閉会式会場



白波スタジアム
(鹿児島県立鴨池陸上競技場)
鹿児島市与次郎2丁目2-2

大会愛称

燃ゆる感動 かごしま国体

世界有数の活火山である桜島や明治維新を成し遂げた偉人に象徴される熱く情熱的な鹿児島。アスリートたちの熱気あふれるパフォーマンスや県民の心のこもったおもてなしが、熱く燃えるような感動を呼び起こす国体を目指します。

スローガン

熱い鼓動 風は南から

熱戦を繰り広げるアスリートたちの熱い鼓動と会場に響きわたる歓声が、鹿児島から南の風に乗って全国に広がってほしいという思いが込められています。

マスコット（ぐりぶーファミリー）

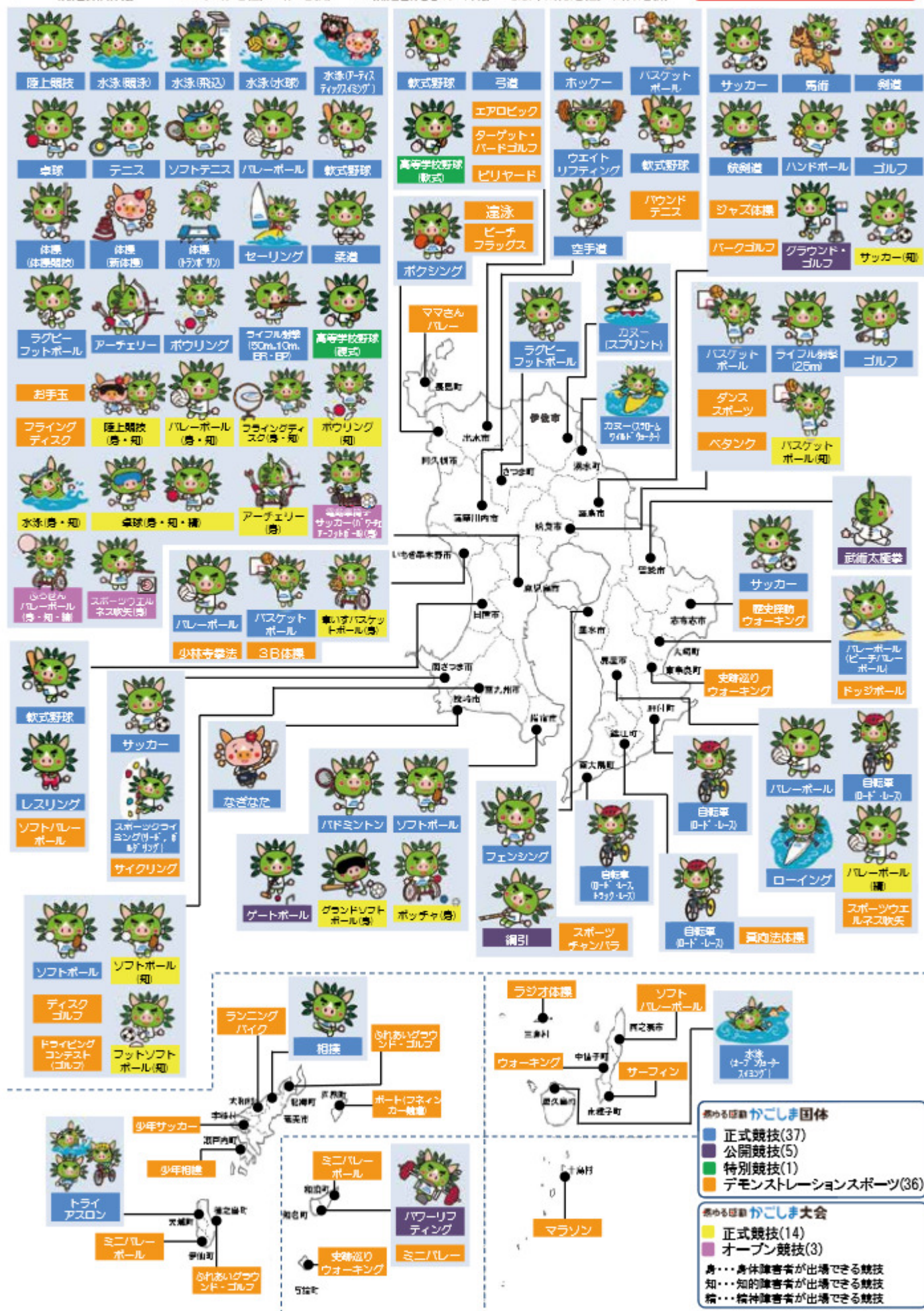
ぐりぶーは、鹿児島が全国に誇る「かごしま黒豚」と「豊かな自然」をイメージした、鹿児島の“西郷どん”のような凛々しい顔つきと、かごしま黒豚の“六白”が特徴のかごしまPRキャラクターであり、名前の由来は緑化の緑（ぐりーん）とぶた（ぶー）で「ぐりぶー」です。

結婚した幼なじみの「さくら」と、7人の子どもたちが一致団結して、「燃ゆる感動かごしま国体」を盛り上げます。



会場地マップ

— 特別全国障害者スポーツ大会 — 2023年10月28日(土)～10月30日(月)





発刊にあたって

燃ゆる感動かごしま国体日置市実行委員会会長
日置市長 永山 由高

昭和47年以来51年ぶりに鹿児島県で開催されました特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」は、「熱い鼓動 風は南から」のスローガンのもと全国各地から選手・監督をはじめ、多くの大会関係者の皆様をお迎えし、たくさんの出会いと感動、思い出を残し、盛況のうちに幕を下ろしました。このことは、令和2年に第75回国民体育大会が開催中止となった際、3年後の開催に御協力いただいた後催県の皆様の御理解と御協力の賜物であり、心から感謝しています。

本市におきましては、正式競技のレスリング競技、軟式野球競技の2競技、デモンストレーションスポーツのソフトバレーボール競技の1競技を開催するため、多くの市民、関係機関及び団体の御理解と御協力をいただきながら準備を進めてまいりました。

大会期間中は、市内の幼稚園・保育園に制作していただいた階段アートや小・中・義務教育学校に制作していただいた各都道府県の手づくり応援のぼり、手づくり応援幕、花育てボランティアの方に大切に育てていただいた国体推奨花、女性団体の方が心を込めて作ったおふるまいなどで多くの方々に温かくお迎えすることが出来ました。

また、来場された子どもたちをはじめ市民にとって、トップアスリートの白熱した試合を間近に見ることができ、勇気や感動をもらい、夢や希望を抱くことが出来た素晴らしい大会になったと実感しています。本大会を通じて来市された方々にスポーツの素晴らしさだけでなく、「住んでよし 訪ねてよし ふれあいあふれるまち ひおき」の魅力を体感していただける良い機会になったのではないかと感じております。

本報告書は、大会の開催に向けて取り組んできた軌跡や大会期間中の様子、そして「燃ゆる感動かごしま国体」の感動を記録し、その成果を未来に語り継ぐための記録集として刊行するものです。ぜひとも多くの皆様に御高覧いただき、かごしま国体が多くの方々に支えられ、見守られながら開催されたことを感じ取っていただければ幸いです。

結びに、後催県の皆様の優しさと大会の開催に向けて長期間にわたり、御支援、御協力を賜りましたすべての関係者の皆様に深く感謝申し上げ、発刊にあたりましての御挨拶といたします。

日置市開催概要

正式競技

競技種目	競技(種別)	競技会場	9月			
			21日(木)	22日(金)	23日(土)	24日(日)
レスリング	成年男子・女子・少年男子 (フリースタイル)	吹上浜公園体育館	●	●		
	成年男子・少年男子 (グレコローマンスタイル)				●	●
競技種目	競技(種別)	競技会場	10月			
			13日(金)	14日(土)	15日(日)	
軟式野球	成年男子	伊集院総合運動公園野球場	●	●	●	
		東市来運動公園湯之元球場	●		●	

デモンストレーションスポーツ

競技種目	競技会場	競技日程
ソフトバレーボール	吹上浜公園体育館	5月21日(日)

東市来運動公園湯之元球場



軟式野球

成年男子



伊集院総合運動公園野球場



軟式野球

成年男子



吹上浜公園体育館

レスリング

成年男子・女子・少年男子
(フリースタイル)
成年男子・少年男子
(グレコローマンスタイル)



デモンストレーションスポーツ

ソフトバレーボール



目次

燃ゆる感動かごしま国体概要

会場地マップ

会長挨拶 / 発刊にあたって

日置市開催概要

開催準備編

日置市実行委員会1

リハーサル大会

レスリング3

軟式野球4

広報・啓発活動5

炬火リレー9

花いっぱい運動12

クリーンアップ運動14

応援歓迎作品15

2020 から 2023 へ21

本大会編

総合開会式23

正式競技

レスリング25

軟式野球29

お成り34

デモンストレーションスポーツ

ソフトバレーボール35

大会を支えた人37

学校観戦41

おもてなし43

歓迎装飾47

総合閉会式49

資料編

日置市開催基本方針53

開催準備経過概要54

日置市実行委員会会則57

実行委員会組織図59

実施本部組織図60

年次別運営費の推移61

広報 PR 活動62

情報発信65

広報啓発物69

炬火イベント71

ボランティア活動74

花いっぱい運動75

クリーンアップ運動76

応援歓迎作品77

学校観戦80

協賛 / 文化プログラム81

おもてなし・売店等82

配布物 / 識別用品83

歓迎装飾 / 宿泊84

弁当 / 環境美化85

医療救護86

警備消防 / 輸送交通87

競技(会)補助員協力校89

お成り90

総合成績91

競技日程・会場・来場者数92

競技結果

レスリング92

軟式野球95

ソフトバレーボール96

実行委員会名簿97

専門委員会名簿99

実行委員会事務局名簿101

燃ゆる感動 かごしま国体

特別国民体育大会

熱い鼓動 風は南から

2023

開催準備編





日置市実行委員会

平成29(2017)年8月24日(木)、日置市中央公民館において、燃ゆる感動かごしま国体日置市実行委員会設立総会を開催し、関係機関・団体の代表者で構成する「燃ゆる感動かごしま国体日置市実行委員会」を設立しました。

実行委員会では4つの専門委員会(総務・企画、競技・式典、宿泊・衛生、輸送・交通)を設置し、委員の皆さんのさまざまな意見を聴きながら市民総参加による大会開催を目指し、準備を進めました。

設立総会・第1回総会



令和2(2020)年4月には、各専門委員会及び総会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「中止」とし、書面による対応としました。



第75回国民体育大会が中止となった後、日本スポーツ協会やスポーツ庁、また、佐賀県や滋賀県など後催県の皆さまに多大なご理解とご協力をいただき、令和5(2023)年に**特別国民体育大会**として開催が決定しました。



国体弁当試食会



専門委員会



総務・企画専門委員会



競技・式典専門委員会



宿泊・衛生専門委員会



輸送・交通専門委員会



リハーサル大会

本大会の競技会運営能力の向上や国体開催の機運醸成を図ることを目的として、令和元(2019)年にリハーサル大会を開催しました。

レスリング

大会名

第45回内閣総理大臣杯

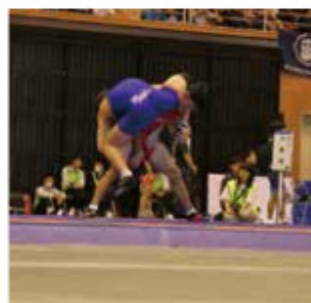
令和元年度全日本大学レスリング選手権大会
(燃ゆる感動かごしま国体レスリング競技リハーサル大会)

日程

令和元(2019)年11月9日(土)～11月10日(日)

会場

日置市吹上浜公園体育館



軟式野球

大会名 第41回西日本軟式野球大会(2部)
(燃ゆる感動かごしま国体軟式野球競技リハーサル大会)

日程 令和元(2019)年6月8日(土)～6月10日(月)

会場 日置市伊集院総合運動公園野球場
■日置市ほか3市(鹿児島市・薩摩川内市・出水市)会場





広報・啓発活動

国体の開催を広く市民の皆さんに周知するため、各種イベントに参加するなど、さまざまな機会や媒体を通して国体のPRを行いました。

また、さまざまな啓発グッズを作成し、広報活動に活用しました。

国体情報ブース（日置市中央公民館）



市内スポーツイベント



高田延彦氏講演会「人生の壁の乗り越え方」 (令和2(2020)年10月3日(土))



志土地夫妻講演会「～ROAD TO GOLD MEDAL～夫婦でつかんだ金メダル」 (令和5(2023)年1月15日(日))



ひおきマルシェ(令和5(2023)年3月19日(日))



国体啓発グッズ



カウントダウン





炬火リレー

日程 令和5(2023)年8月23日(水)

会場 日置市吹上浜公園陸上競技場
日置市伊集院総合運動公園陸上競技場

8月23日(水)、6歳から85歳の160人でつないだ灯が吹上浜公園陸上競技場と伊集院総合運動公園陸上競技場の2会場を駆け抜けました。

両会場とも途中で雨に打たれましたが、走者の皆さんは最後まで笑顔で走っていました。

ひおきPR武将隊のほら貝や太鼓、チェスト伊集院陸上スポーツ少年団の皆さんの「ゆめ～KIBAIYANSE～ダンス」で会場を盛り上げてくれました。



採火式



▲炬火リレー用Tシャツ贈呈



▲火打石により採火(薩摩日置鉄砲隊)



▲炬火トーチに点火

7月20日(木)、鹿児島県庁前広場特設ステージにおいて採火式が行われ、火打石により採火した火を3つのリレーコースの出発地へ移送するため、分火しました。



▲炬火受皿に点火



▲3コース用のランタンに分火

炬火リレー

吹上浜公園陸上競技場



▲ひおきPR武将隊による出発の合図



▲国体旗等を走者へ委託



▲チェスト伊集院陸上スポーツ少年団による「ゆめ～KIBAIYANSE～ダンス」披露



伊集院総合運動公園陸上競技場



企業協賛感謝状贈呈式

協賛する各社がごしあ国体白雲市実行委員会





花いっぱい運動

育苗機関が育てた花苗を花いっぱい運動ボランティア、幼稚園・保育園・こども園へ配布し、自宅や職場、園などで育成していただき、全国から来訪される選手や関係者の皆さんを温かくお迎えするため、プランターシールに手書きのメッセージを添えて競技会場に飾りました。



花育て教室

国体推奨花の寄せ植えなどの実技を交えた花育て教室を開催しました。



花いっぱい運動



▲花いっぱい運動ボランティアへ苗の配布



▲伊集院駅南口に花プランターの設置



▲種子袋のプレゼント

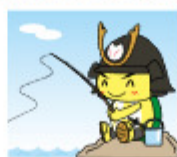


▲育苗機関より花苗の受領





クリーンアップ運動



日本三大砂丘の一つであり日本の渚百選に選ばれている吹上浜の環境美化、自然環境の保全やかごしま国体・かごしま大会で全国から訪れる選手や関係者の皆さんを気持ちよくお迎えするため「吹上浜クリーンアップ運動」を実施しました。

早朝から多くのボランティアの参加があり、市民・企業・団体が一体となって海岸に打ち上げられたごみを拾い、周辺の草取りなどの清掃活動を行いました。

参加していただいた方々に国体ロゴ入り軍手を配布し、機運の醸成を図りました。





応援歓迎作品

国体の開催に先駆け、市内の園児や児童生徒の皆さんが心を込めて制作した応援メッセージ入りの手づくりのぼり旗や応援幕等を競技会場に設置し、全国から訪れる選手や関係者の皆さんを温かくお迎えしました。

2020応援のぼり旗

市内小・中学校の児童生徒が方言や特産品、応援メッセージをたくさん込めて、2020年のかごしま国体に向けて制作しました。3年間の時を経て2023年の特別国体で競技会場へ飾ることができました。



2023 応援幕

市内小・中・義務教育学校の児童生徒が各県の方言や特産品等を調べ、心温まる応援メッセージを描いた作品が競技会場を彩りました。



階段アート

市内幼稚園・保育園・こども園の園児が制作しました。作品は令和5(2023)年5月から10月までの期間、JR伊集院駅の自由通路階段を飾り、国体開催の機運の醸成を図るとともに、全国から訪れる選手や関係者の皆さんを温かくお迎えしました。



2023日置市応援カレンダー図画コンクール

かごしま国体・かごしま大会からイメージできる自由な発想で大会のPRにつながる図画作品の募集を行い、市内在住・通学の児童生徒の皆さんより、241点の応募がありました。

入賞作品は「2023年日置市応援カレンダー」に掲載し、国体開催の機運を盛り上げました。



図画コンクール授賞式

令和4(2022)年12月、「みんなのYUMEタイムトライアル2022冬」の開催日に2023日置市応援カレンダー図画コンクール授賞式を行いました。

入賞者へ賞状や作品をプリントしたマグカップなどを授与し、後日、図画作品の応募者全員へ、卓上カレンダーや全応募作品を掲載したA4クリアファイルなどを配布しました。



かごしま国体応援作品展示会

令和4(2022)年度をもって76年の歴史に幕を下ろした旧上市来中学校において、応援幕や図画作品など530点もの制作物を展示し、多くの方々に観覧いただきました。







2020 から 2023 へ

「燃ゆる感動かごしま国体(第75回国民体育大会)」、「燃ゆる感動かごしま大会(第20回全国障害者スポーツ大会)」は、開催目前に新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年秋には開催しないことが決定されました。

これまで頑張ってきた選手・監督、48年ぶりの開催に向け長い期間準備に取り組み、ご協力いただいた市民や関係機関・団体、開催地実行委員会の皆さんにはさまざまな思いが生じることとなりましたが、その後、関係機関・団体のご尽力と多くの方々のご理解をいただき、昭和47年の第27回国民体育大会(通称「太陽国体」)以来、51年ぶりに国体を開催することができました。

かごしま国体・かごしま大会は、苦境を力に変え、まさに「特別」な大会となって、県民に勇気と感動を与えました。

日本スポーツ協会は、8日、東京の同協会会臨時理事会を開き、新型コロナウイルスの影響で延期になった第75回国民体育大会(燃ゆる感動かごしま国体)と第20回全国障害者スポーツ大会(燃ゆる感動かごしま大会)を、2023年秋に開催することを承認し、正式に決定した。23年は、両大会とも格別回数に付けず、「特別大会」として開催する。



鹿児島国体の決定書を手に記念撮影する塩田康一知事(右)と日本スポーツ協会の伊藤雅俊会長
＝8日、東京都新宿区の同協会

日本スポーツ協会は、 23年開催正式決定

鹿児島国体は「特別大会」

開催は初めて。決定後、日本スポーツ協会の伊藤雅俊会長が塩田康一知事に決定書を交付した。塩田知事は「鹿児島への悔しさと痛みを、全国で分かち合っていた。国体委員長が延期を巡る協議の経過を説明。23年の鹿児島を特別大会と位置付け、国民スポーツ大会(国スポ)への変更は24年の佐賀県からとする」と承認した。(平川順一郎)



「南日本新聞2020(令和2)年10月9日付朝刊1面掲載」

かごしま国体・かごしま大会は、日本全体で痛みを分かち合い、みんなで力を合わせて乗り切るという思いのもと、日本スポーツ協会、日本パラスポーツ協会、文部科学省・スポーツ庁及び鹿児島県、佐賀県、滋賀県をはじめとする後催県との調整など多くの方々のご理解とご協力をいただきました。

燃ゆる感動 **かごしま国体**

特別国民体育大会

燃ゆる感動 **かごしま大会**

特別全国障害者スポーツ大会

熱い鼓動 風は南から

2023